

家電製品などの模倣サイトに注意



相談事例 SNSの広告で、家電メーカーAの掃除機が大幅に値引きされていた。公式サイトと表示されていたので、その広告から掃除機を注文してクレジットカード番号を入力した。

しばらくして英語のメールが届いたのでおかしいと思い、サイトに載っていた電話番号にかけると家電メーカーAにつながり、「大幅な値引きはしていない。公式サイトを真似た模倣サイトではないか」と言われた。返金してほしい。

【模倣サイトのチェックポイント】

- 販売価格が大幅に値引きされている
- 事業者の住所の記載がない、記載があってもネットで調べると実在しない住所や建物がない土地になっている
- サイトのURL表記が本物のサイトと少しだけ違う
- 注文確認メールや決済完了メールの日本語が不自然、または英語等になっている

アドバイス

模倣サイトでの申し込み、決済後は事業者と連絡が取れなくなるケースが多く、返金を求めることが難しくなります。申し込み前に電話やメールをして本物の事業者なのか確認しましょう。クレジットカード決済の場合は、すぐにカード会社に連絡してカードの利用停止手続きを行い、カード決済のキャンセルができるか相談をしてください。



申し込み前に電話やメールをして
本物の事業者なのか確認するワン！